



日本板硝子株式会社
会社案内



CORPORATE PROFILE

私たちのガラスにしか見えない未来がある。

日本板硝子は、次の100年へ。新たな視界が世界へ広がります。

人と社会に欠かすことのできないガラス。日本板硝子は1918年の創業以来、ガラスという素材が秘めるさまざまな可能性を見つめ、引き出し、人と社会と産業の発展に寄与してきました。

住まいやビルなどの建築物をはじめ、自動車・鉄道車両などの乗り物、さらに太陽光発電、プリンタ・複合機、スマートフォンなど、私たちのガラスは暮らしの360度に広がり、たくさんの豊かさを世界中で支えています。

そして、私たちは次の100年へ向け新たな挑戦を始めています。それは、VA*ガラスカンパニーへの変容。これからの100年にふさわしい、最先端ガラスのさらなる創造に突き進む日本板硝子にご期待ください。

*VA = Value Added 高付加価値



グローバル事業展開

GLOBAL OPERATIONS

総勢27,000名、世界各地に主要製造拠点を展開。

日本板硝子は、世界100ヵ国以上で製品を販売している、ガラスおよびグレーディングシステム製品の世界最大メーカーのひとつ。

ヨーロッパ、北米、南米、日本を中心とするアジアに主要製造拠点を擁する充実のグローバル体制のもと、細心のサービスを提供しています。



事業領域

BUSINESS FIELDS


日本で、世界で、日本板硝子は「VAガラスカンパニー」へ。

世界のガラス技術をリードするグローバル企業として、建築用ガラス、自動車用ガラス、高機能ガラスの3分野で幅広く事業を展開。

そのすべての領域において、VAガラス製品を中心に据えた事業活動を強化、活発化させています。



ARCHITECTURAL
建築用ガラス事業



AUTOMOTIVE
自動車用ガラス事業



TECHNICAL
高機能ガラス事業

建築用ガラス事業

ARCHITECTURAL GLASS

これまでも、これからも。建築が向かう未来に、私たちのガラスがある。

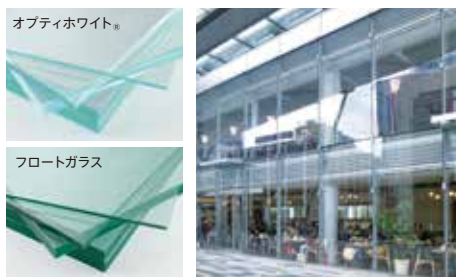
常に次代が求める新しいポテンシャルを備えたガラスを生み出し続ける日本板硝子。

建築分野においては、人と地球の共存を目指した快適空間を創出する革新的なガラスを主軸に開発、製造しています。



世界初の真空ガラス「スペースエア®」

世界で初めて商業生産された真空ガラス、それが日本板硝子の「スペースエア®」です。ガラスとガラスの間にわずか0.2ミリの真空層を設けることで一枚ガラスの約4倍、一般的な複層ガラスの約2倍の断熱性能を実現。また薄型なので、新築のみならず既存住宅の窓改修にも最適で、快適性・省エネ性とともによりCO₂削減に貢献可能な環境にもやさしい窓ガラスです。



デザインの自由度を高める「オプティホワイト®」

限りなく透明感を高めた高透過ガラス「オプティホワイト®」。鉄分の含有量を少なくすることで、フロートガラスにみられる青みを抑えました。内部空間と外部空間の視覚的な一体感をはかる建築物や、透明効果と合わせて構造体を露出させる建築物などに好適です。エッジ部分も美しいため、ショーウィンドウや展示ケースのデザインなど自由度も広がります。



オンラインコーティングガラス

日本板硝子独自のCVD製法(Chemical Vapor Deposition)でつくられています。板ガラスの成形に必要な熱エネルギーを利用してガラス表面にコーティングするため、大面積・大量生産に適した優れた成膜技術です。建築用省エネガラス(Low-Eガラス)として環境負荷の低減に貢献するだけでなく、透明導電膜付ガラスやサイネージ分野など、さまざまな産業用途でも欠かすことのできないガラスとなっています。



次代を担う太陽光発電用ガラス

太陽光発電は、従来のエネルギーに代わるさまざまな需要に対応できます。日本板硝子は、太陽光発電の3つの主流技術分野である「薄膜太陽光発電モジュール」「結晶系太陽光発電モジュール」「集光型太陽光発電モジュール」のすべてに高品質ガラス製品を供給。成長分野のカギを握る重要な役割を担っています。

AUTOMOTIVE GLASS

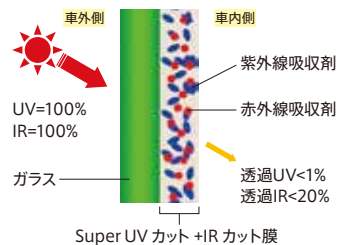
高度化する多様なニーズに、日本板硝子にしかできない提案を次々と。

私たちのガラスは、イノベーションを通して自動車などの乗り物の進化を牽引しています。

世界で初めて実用化した自動車用調光ガラスや、自動車設計の自由度を高めたガラスアンテナも、そのひとつ。

ますます複雑・高度化するニーズに、独創的な技術力を駆使した柔軟なグレーディングソリューションを提供しています。

Super UVカット+IRカットガラス構造図



快適な車内空間を創出するガラス

私たちが開発した高機能なガラスのひとつに「Super UV+IRカットガラス」があります。これは、紫外線(UV)と赤外線(IR)をカットする性能を同時に実現したガラス製品で、主に自動車のフロントドアを中心に使用されています。紫外線を約90%カットする強化ガラスの車内面に、さらに紫外線と赤外線を吸収する膜をコーティングし、紫外線約99%カット*1、赤外線約80%カット*2を可能にしています。膜だけでなく、素板、中間膜も同等の性能を持つ製品をとりそろえています。

*1:当社測定値、ISO9050基準 *2:当社測定値、800-2000mmの平均カット率

世界最薄ガラスの技術

CO₂削減・低燃費化を進めるため、自動車の部品には軽量化が求められます。日本板硝子では、こうしたニーズにお応えするため、ガラスの軽量化に引き続き取り組んでいます。その成果のひとつとして、私たちが開発した自動車ガラスのフロントガラスには、世界最薄*3を誇る、車外側2.0mm+車内側1.0mmの合わせガラスがあり、燃費向上などに貢献します。

*3:当社調べ



進化し続ける車両用ガラス

窓ガラスは自動車などの車両に不可欠なパーツです。しかし、ガラスという素材は曲がりにくい特性があるため、自動車のスタイリングに合わせた形や曲がり具合など、複雑で高度なニーズにお応えするために、曲げるための技術進化を絶え間なく続けています。日本板硝子では、近年、大型のヘッド・アップ・ディスプレイ(HUD)に対応したフロントガラスなど、先進のプレス技術を駆使したガラス製品を提供、快適かつ安全なドライビングを支えています。



さまざまな産業用車両にガラスを提供

観光列車として人気の高いJR東日本のクルーズトレイン「TRAIN SUITE 四季島」などの鉄道車両にもガラス製品を供給しています。さらにバスやトラックなどの産業用車両にも私たちのガラスが数多く使われ、なくてはならない存在になっています。これらは、ひとつひとつがカスタムメイドによる製造で、お客様の要望に確かな技術でお応えしています。

高機能ガラス事業 ~ファインガラス事業 / 情報通信デバイス事業~

TECHNICAL GLASS -Fine Glass / Information & Telecommunication Device-

IT社会の最前線で、私たちのガラスが活躍する。

ディスプレイ、そしてオプティクスの進化を支える高性能ガラスのパイオニアとして。

IT社会の発展にも尽くしてきた私たちは、その先駆のスピリットで今後もこの分野の未来を照らし続けます。

ファインガラス事業



化学強化用ガラスの概念を変えた「glanova®」

スマートフォンやタブレットの進化によって、その性能を支える化学強化用ガラスの重要性がますます高まっています。それに伴い、強度や透明度、熱加工のしやすさといった性能だけではなく、適正なコストであることも化学強化用ガラスに求められています。「glanova®」は、そうしたニーズに応えるために生まれました。今までにないポジションの化学強化用ガラスです。強さがあり、クリアで熱成形しやすく、高品質で低コストの製造工程など、従来では得られなかったハイバランスな価値を手に入れています。



ULTRA FINE FLAT GLASS「UFF®」

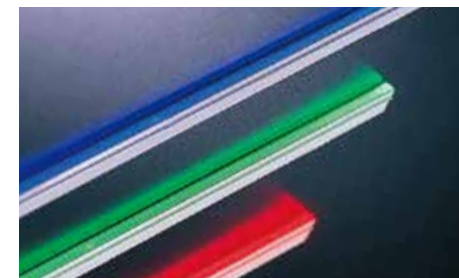
日本板硝子は、1978年にコルバーン式ガラス製造方法で世界に先駆けて、低コスト超薄板ガラス(UFF®:ULTRA FINE FLAT GLASS)を生産・販売し、LCD業界黎明期の大きな革新となりました。その後、1989年から製造方法をフロート式に変更し、より高品質・低コストのガラスを大量生産することにより、LCD業界の発展に大きく貢献してまいりました。超薄板アプリケーションに対応すべく、超薄板(0.27mm厚)、研磨ガラス代替品など、製品ラインアップを増やし、引き続きさまざまな形でUFF®製品を提供していきます。

情報通信デバイス事業



光学系の革命児「セルフォック®・レンズアレイ」

日本板硝子の代表的な製品「セルフォック®・レンズアレイ(SLA®)」は、「セルフォック®・レンズ」を多数配列して正立等倍の画像を得る光学系として、コンパクト設計とコスト低減を可能にしました。複写機の画期的新商品に貢献して以来、ファクシミリ、LEDプリンタ、デジタル複写機、各種スキャナ、複合機など応用範囲を拡大しています。また、独自開発の光半導体との組み合わせによって、高速化・高精細化・カラー化する光学系情報機器のキーパーツとして期待されています。



これからの原稿読み取り用光源「セルガイド®」

「セルガイド®」は、日本板硝子が独自の光学技術を活用して開発した原稿読み取り用光源です。高輝度で均一性に優れ、さらにはLEDの数を減らすことにより、低消費電力を実現。密着イメージセンサなどの読み取り装置に最適な光源です。特に「カラー・セルガイド®」では、超高輝度の3原色LEDチップを順次切り替え点灯させることにより、鮮やかなフルカラーでの色再現が可能となります。

高機能ガラス事業 ~ファンクショナルプロダクツ事業 / バッテリーセパレーター事業~

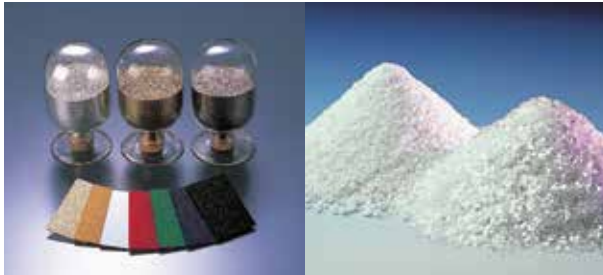
TECHNICAL GLASS -Functional Products / Battery Separator-

ガラスの歴史を塗り替える技術。新しい形と機能を追求。

「燃えにくい」「電気を通しにくい」など、ガラスの優れた特性を生かしたハイテク素材としてのガラス繊維を開発。

なかでも特殊ガラス繊維は、ガラスを知り尽くし、多様な先進技術を保有する日本板硝子だからこそ開発可能な先端分野です。

ファンクショナルプロダクツ事業



オリジナル技術が生み出した 粉体製品「ガラスフレーク®」「メタシャイン®」

「ガラスフレーク®」は鱗片状のガラス粉末です。Cガラスは、耐酸性能とフレークの層形成によるバリア効果に優れ、塗装・ライニング層の寿命延長、耐薬品性の向上を実現。Eガラスは、樹脂へ添加すると、形状特性により成型品のソリや収縮を防ぎ、寸法安定性に極めて効果的です。またメタシャイン®は、ガラスフレーク®に金属や金属酸化物を被覆させた光輝性に優れた顔料です。塗料や樹脂へ添加することで優美かつ鮮やかな色調が得られ、自動車・電気製品向けの塗料、化粧品原料など多彩な分野で採用されています。



世界をリードする「マイクログラス®ガラスコード」

「マイクログラス®ガラスコード」は、ガラス長繊維に特殊処理を施し、ゴムとの密着性を高めた製品です。自動車用タイミングベルトをはじめ種々の産業機械、OA機器の動力伝達ベルトの補強材として、引張強度、屈曲疲労性、寸法安定性、耐熱性などに優れた性能を発揮しています。イギリス、カナダ、中国にも製造・販売拠点を持つ世界のトップサプライヤーとして、多様化、高機能化するさまざまなゴム製品のニーズにお応えします。

バッテリーセパレーター事業



環境保護に貢献する電池材料「PEセパレーター」

「PEセパレーター」は、特殊ポリエチレンとシリカ微粉体を主体とする耐久性に優れたセパレーターです。加工性にも優れているため、バッテリーラインで効率良く袋加工することができます。また、過酷なバッテリー使用条件に耐える高性能セパレーターでもあり、近年普及が進んでいるアイドリングストップ車向けバッテリーにも広く使用されています。



社会インフラを支える電池材料「AGMセパレーター」

「AGMセパレーター」は繊維径ミクロン以下のガラス繊維を中心に形成された不織布で、シール鉛蓄電池に使用されます。優れた弾力性と高い耐酸化性、そして均一な極細孔を持つため、活物質の脱落を防ぎ電解液を良好な状態に保持し、正極で発生したガスを負極板へ急速に移動吸収させるためのリテーナーマットです。シール電池は各種バックアップ非常用電源のほか、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギー分野でも活躍しています。

サステナビリティへのアプローチ

OUR APPROACH TO SUSTAINABILITY

サステナビリティへの取り組みでも、リーディングカンパニーでありたい。

私たちは創業以来、企業倫理の遵守徹底とともに、本業を通じて誠実に社会的責任を果たしてきました。

今日では、とりわけ高性能ガラスの分野でグローバルリーダーを目指し、省エネ・創エネを強力に推進する製品を開発、製造。

ガラス技術によって、温室効果ガスの削減や気候変動の影響緩和に向けた社会の取り組みをリードしていきます。

サステナビリティへの積極的な取り組み

私たちはサステナビリティに関する基本方針を定めた「グループサステナビリティポリシー」を発行し、次の目標を掲げて取り組んでいます。

- 独自の価値ある製品とサービスの提供を通して、生活水準の向上、人々の安全と健康、エネルギー創出と省エネルギーに貢献する。
- 将来の世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、今日の世代のニーズを満たすという「持続可能な開発(発展)の原則」に従って、事業活動を行う。

サステナビリティ目標の達成のため、すべてのステークホルダーのニーズのバランスを取り、「環境影響の管理・人材開発・プロセスと製品のイノベーション・地域社会との共存」を図るとともに、顧客・請負業者・サプライヤーにも賛同を呼びかけていきます。

また、2019年10月には、2030年までの温室効果ガス削減目標が、パリ協定が目指す「産業

革命前からの気温上昇を2℃未満に抑える」ための科学的根拠に基づいた目標としてSBTイニシアティブ(SBTi)に認定されました。ガラス製造工程で排出されるCO₂の削減や再生可能エネルギーの導入、太陽電池パネル用ガラスや真空ガラス「スペースシア®」などの革新的なガラス製品の提供により、気候変動リスクの低減に貢献してまいります。



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

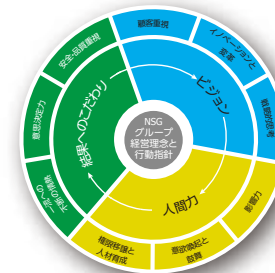
学術支援活動による社会貢献



1979年、日本板硝子は財団法人「日本板硝子材料工学助成会」を設立。IT、バイオテクノロジー、エネルギー、環境など、さまざまな産業分野で活用される無機材料の研究や、無機材料研究に関する国際会議に対して研究資金の援助を行ってきました。2009年の公益財団法人に移行後も、引き続き学術支援活動に取り組んでおり、これまでの約40年間で全国140を超える大学・高専・公研の研究者を支援しています。

人材育成と新コンピタンスモデル

2018年11月に策定した新経営指針「Our vision」の考えに基づき、多様な人材が能力を最大限に発揮し、やりがいを持って事業に貢献できるよう、個人の成長と自己実現への機会提供をグローバルとリージョンの各レベルで実践しています。日本板硝子の事業目標と事業戦略の達成に求められる行動を明示したコンピタンスモデルは、各種トレーニングやキャリア育成、採用や人員配置に生かされています。



CS(お客様満足度)への取り組み

日本板硝子では、お客様との直接の窓口としてカスタマーセンター(建築用ガラス)を設置し、一般消費者の皆様から建築設計分野のプロユーザーの皆様がいるまで、年間3万件に上るさまざまなご質問、ご意見、ご要望を一元的にお受けしています。私たちの製品をご使用くださるお客様の声は、何よりの貴重な財産です。これからも、カスタマーセンターにお寄せいただいたご意見などを真摯に受け止めてさまざまなサービスや製品、品質の向上に取り組み、CSを高める努力を続けてまいります。

日本板硝子お客様ダイヤル

☎ 0120-498-023

受付時間 9:00~12:00、

13:00~17:30(土日祝休)

FAX 0120-498-029(24時間受付)

CORPORATE PROFILE

長期ビジョンのもと、総力を結集して次の時代へ。

「VAガラスカンパニーへの変容・変革」を長期ビジョンに掲げ、2018年11月、新たな経営指針「Our Vision」を策定。

世界的な経営環境の変化、急速な技術革新および地球環境の保全をはじめとする重要課題に対応し、

持続的な成長に向けた事業活動を推進してまいります。

Our Vision



使命

快適な生活空間の
創造で、
より良い世界を築く

目指す姿

先進の発想で変化を起こし、
すべての分野で
最も信頼される
パートナーとなる

コアバリュー

- ・人を尊重し、人を活かす
- ・信用を重んじ、誠実に行動する
- ・社会に役立つ
- ・自ら考え行動する
- ・失敗を恐れず挑戦する
- ・やり抜き結果を出す

企業概要

商号：日本板硝子株式会社
(Nippon Sheet Glass Company, Limited)

設立年月日：1918年(大正7年)11月22日

東京本社：〒108-6321 東京都港区三田3丁目5番27号
(住友不動産三田ツインビル西館)
TEL 03-5443-9500

大阪本社：〒541-8559
大阪市中央区北浜4丁目5番33号(住友ビル4階)
TEL 06-6222-7512

URL

<https://www.nsg.co.jp/>

営業品目

建築用ガラス事業

複層ガラス、真空ガラス、防犯ガラス、強化・倍強化ガラス、合わせガラス、防火ガラス、
熱線吸収・熱線反射ガラス、太陽光発電用透明導電膜付ガラス、フロート板ガラス、型板ガラス、
網入りガラス、カラーガラス、鏡、装飾ガラス、店装材

自動車用ガラス事業

自動車・車両用安全ガラス(合わせガラス、強化ガラス)、撥水性ガラス、
ソーラーコントロールガラス、ガラスアンテナシステム

高機能ガラス事業

- **ファインガラス事業**
高平坦度超薄板ガラス「UFF®」(LCD、タッチパネル・カバーガラス用)
フラットディスプレイ用透明導電膜付ガラス、化学強化用ガラス「glanova®」

- **情報通信デバイス事業**

セルフォック®、レンズアレイ、スキャナ・複写機用線光源、面型光源

- **ファンクショナルプロダクツ事業**

特殊ガラス繊維(グラスコード、ガラスフレック®、メタシャイン®、その他)

- **バッテリーセパレーター事業**

バッテリーセパレーター、その他

国内事業所

技術研究所

〒664-8520 兵庫県伊丹市鴻池2丁目13番12号 TEL 072-781-0081

千葉事業所

〒299-0107 千葉県市原市姉崎海岸6番地 TEL 0436-61-2111

相模原事業所

〒252-5189 神奈川県相模原市緑区西橋本5丁目8番1号 TEL 042-775-1501

四日市事業所

〒510-0051 三重県四日市市千歳町2番地 TEL 059-352-3111

津事業所

〒514-0817 三重県津市高茶屋小森町4902番地 TEL 059-238-1111

垂井事業所

〒503-2121 岐阜県不破郡垂井町630番地 TEL 0584-22-1101

京都事業所

〒601-8206 京都府京都市南区久世大藪町469番地 TEL 075-934-8218

舞鶴事業所

〒625-8666 京都府舞鶴市大波下小字浜田255番地 TEL 0773-62-2351

快適な生活空間の創造で、より良い世界を築く
日本板硝子の詳しい情報はこちら www.nsg.co.jp



NSG 日本板硝子株式会社
GROUP

東京本社: 〒108-6321 東京都港区三田3丁目5番27号 (住友不動産三田ツインビル西館)